

総評

冬季及び夏季の温度計測の結果より、比較すると次のことが分かる。

① 冬季に比べると夏季の断熱効率がよい。

中間階中住戸は両側の住戸が断熱空間となるため、夏季と冬季の差がグラフに表れてはいないが、妻住戸における夏季の断熱効率がよいのは空調をつけている部屋（南側）とつけていない部屋（北側）の温度差から明らかである。これは外断熱が夏季においてもまた、室温のバリアフリー化に有効であると言える。

② 夏季・冬季どちらにおいても、躯体からの熱の影響をほぼ受けない

外皮温度は夏季の高い時で40度以上になることもあれば、冬季は0度以下になることもある。このような温度の振れ幅に対して室温が影響されないということは、外断熱を施すことにより、夏に涼しく、冬に温かい家を実現できていると言える。

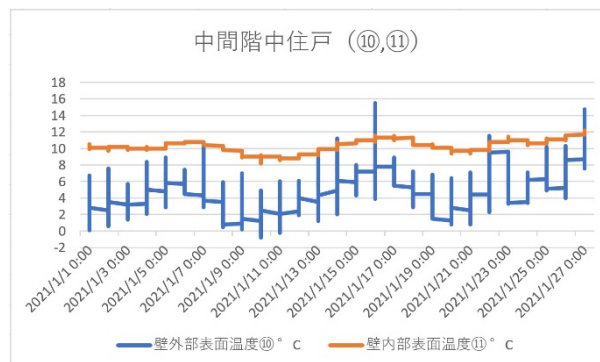
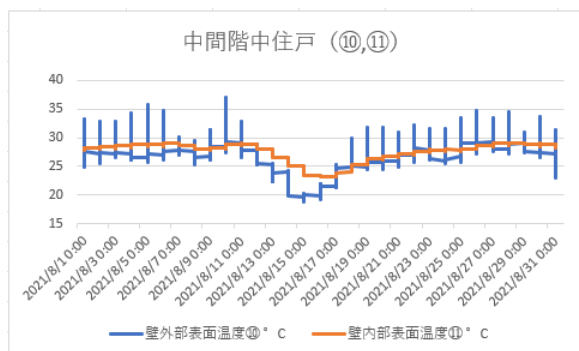
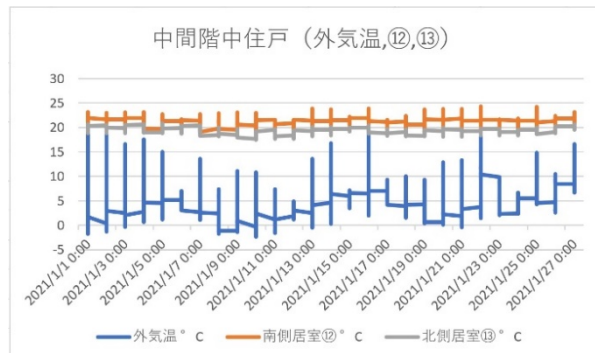
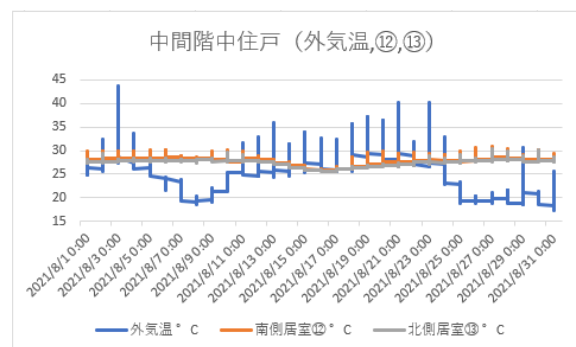
上記のようなことから、現在は関東～北海道を中心とした地域が外断熱の盛んな地域として認知されているが、関東以南の沖縄までの比較的寒さが厳しくなく、夏の暑さが厳しい地域であっても、外断熱の有用性が証明された。

実際、RC造が多い沖縄での外断熱建築も増えており、ますます外断熱の有用性が全国に認識されることを期待する。

夏季

冬季

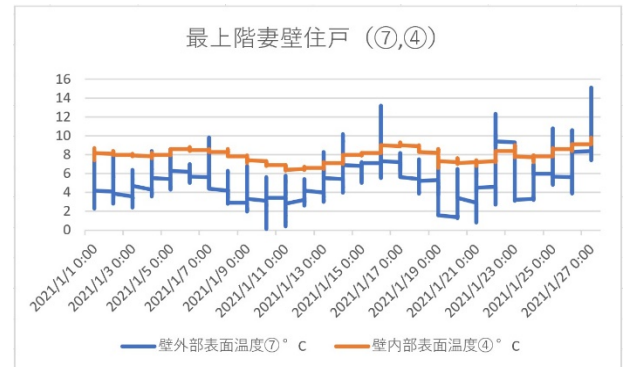
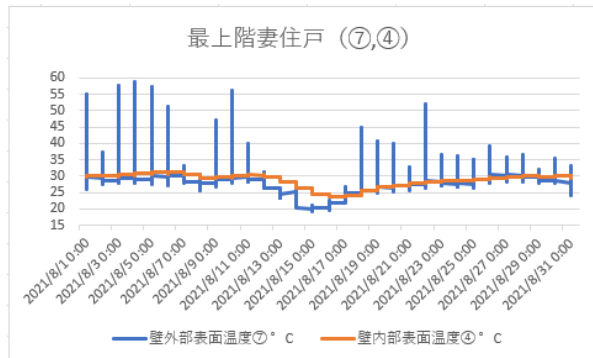
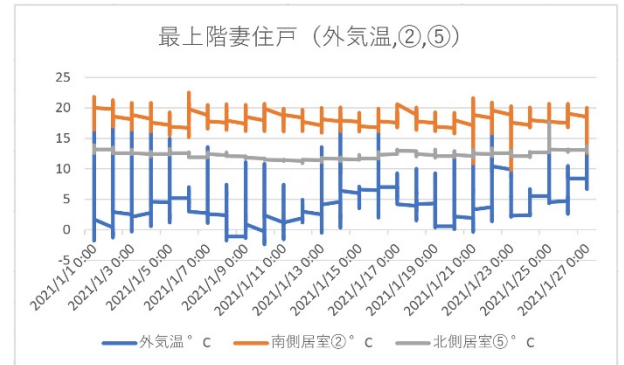
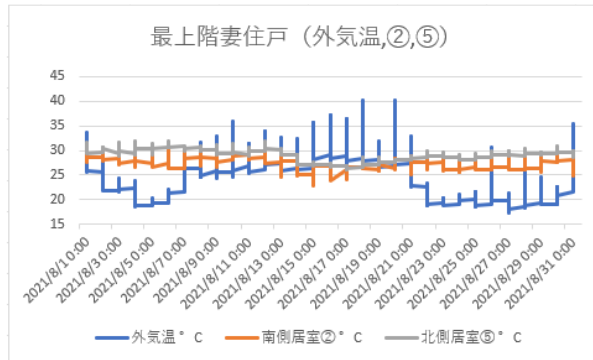
【中間階中住戸】



夏季

冬季

【最上階妻住戸】



【最下階妻住戸】

